

# ベランダ（プランター）でキエーロのつくり方

## 1 用意するもの

フタの寸法は参考の数字です。プランターの大きさに応じてサイズを変更してください。

※ 処理できる量は容器の大きさに比例します。人数にあわせて個数を調整してください。

### 本体用材料

大型のプランター（約48ℓ） サイズ 縦400mm×横720mm×高さ260mm

### フタ用材料

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| (1) 板（厚さ1.5cm）<br>長さ76cm×幅9cm 2枚 | (4) ポリカ波板<br>① 長さ47cm×幅66cm 1枚<br>② 長さ30cm×幅66cm 1枚<br>③ 波板固定用釘（50mm） 14本 |
| (2) 角材（3cm×4cm）<br>長さ40cm 2本     |   |
| (3) 止用ネジ又は釘（50mm程度） 8本           |   |

## 2 作製の手順

### (1) 材料の用意



板、角材、ポリカ波板は、寸法とおり切断。

### (2) フタの作製①



プランター上部の大きさにあわせて、フタ用材料(1)板と(2)角材をネジで固定。

### (3) フタを作製②



ポリカ波板と(2)角材の間に1cm程度の空間（空気取り入れ用）ができるよう固定。

### (4) フタの作製③



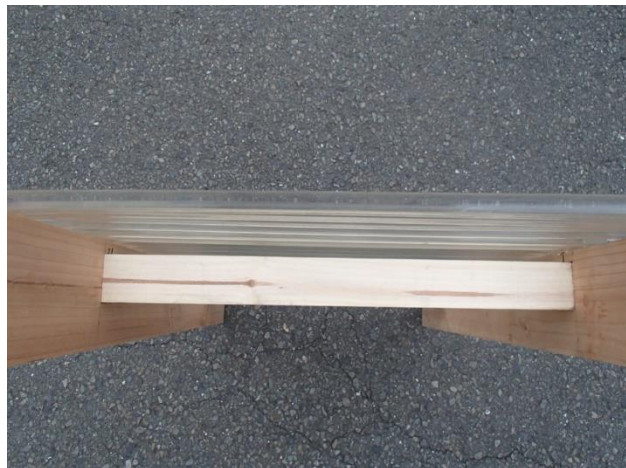
フタ用材料(1)板と(2)角材をネジで固定後、(4)ポリカ波板を釘で固定。

(5) フタの完成①（裏側から）



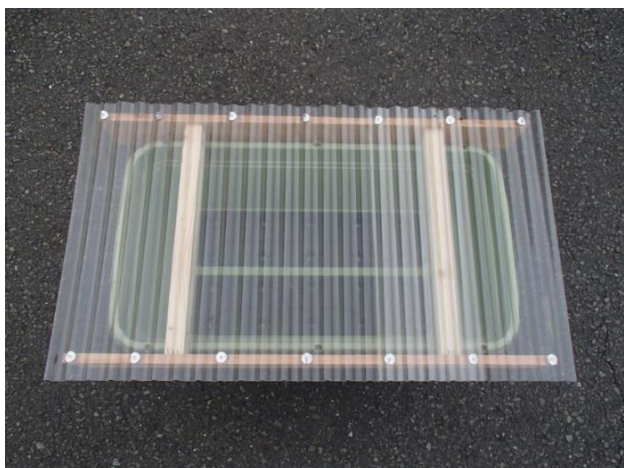
(2) 角材と(2) 角材の間隔は、プランターの横の長さより狭くすることで空気の取り入れ、処理を促進することができます。

(6) フタの完成②（横側から）



ポリカ波板と(2) 角材の間に1cm程度の空間を作ることで空気の取り入れ、処理を促進することができます。

(7) プランターにフタを被せた状態



フタはプランターより大きめに作り、必ず、空気の取入れ口を設けるよう作製してください。



空気の取入れ口は、空気が通り抜けできるように、作製してください。

(8) 完成



- ・日当たりと風通しの良いベランダ等に置いて使用してください。
- ・本体とフタの間は、風通し用の隙間です。
- ・黒土45ℓ（容器の9割程度）を入れて使用してください。
- ・生ごみは15cm～20cm掘った穴に入れ、スコップで切るように混ぜてください。
- ・掘る場所は6ヶ所程度とし、毎日ずらして、生ごみを処理してください。
- ・強風対策として必要により、フタをフックやロープ等で固定してください。